

有終の美を飾ろう！ ～大きく成長した一年間を締めくくる3月～

早いもので3学期に登校する日もあと16日（卒業生）と19日（在校生）となりました。1年生にとっては、国語・算数・図工・生活などの色々な勉強や遠足・運動会・マラソン大会などの行事、何もかもが初めて体験する1年間だったと思います。そんな中で友達に励ましてもらったり、先生に褒めてもらったり、お家の人に認めてもらったりして、小さな成功体験を積み重ねながら、自分一人ですることができることをたくさん増やしてきました。褒められ、認められ、任されることで自分に自信が生まれ、信頼の眼差しで見つめられることにより安心して学校生活を送っている姿を見て嬉しく思います。先生・親・友達の言葉遣いや行動をよく見て、真似することから学んでいる姿を見かけることが多くありました。小学生時代は、言葉の指示による学びよりも真似る体験から学ぶことのほうが多いんだなあと思います。

1年生だけではなく他学年の子ども達も、仲間と共に様々な体験活動を通じて、心（気力）・体（体力）・頭（学力）をしっかりと鍛え、ゆっくり着実に成長を続けています。明るく、元気よく、いつも頑張ってくれています。

「子どもの個性が活かされる、のびのびと楽しい学校」

「保護者や地域に信頼される、明るくて活力ある学校」

めざしてきた学校では、何よりも誰にとっても居心地のいい学校でなければなりません。残り僅かですが、クラスの仲間と共に悔いのない毎日を過ごしてください。

そして3月は、別れの季節でもあります。6年生は、来週から卒業式に向けての行事や練習が始まります。たくさんの思い出ができた中野上小学校との別れ、中学生になる不安や喜び、各自が様々な思いを感じながら、卒業式を迎えるまでの間、中野上小学校の仲間と共に生活できる時間を有意義に過ごし、1年生から5年生までの後輩達に素晴らしい伝統を引き継ぎ、最後の締めくくりをしっかりと行って「有終の美」を飾って欲しいと思います。

校長 土井 安博